

2021年3月19日

各位

会社名 株式会社ビザスク

代表者名 代表取締役 CEO 端羽 英子

(コード：4490、東証マザーズ)

問合せ先 取締役 CFO コーポレートグループ長 安岡 徹

(TEL. 050-3733-8513)

業績予想の修正に関するお知らせ

2021年1月14日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」(2020年3月1日～2021年2月28日)において開示いたしました業績予想について修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

2021年2月期(通期)の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,520	百万円 90	百万円 79	百万円 95	円 銭 11.05
今回発表予想(B)	1,600	210	200	195	22.70
増減額(B-A)	80	120	121	100	11.65
増減率	5.3	133.3	153.2	105.3	105.4

(注). 当社は、2021年2月期の第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しておりますので、前期実績については記載しておりません。なお、当期の個別業績予想と前期の個別業績の実績との比較については、本資料の「2. 個別業績予想」をご覧ください。

2. 個別業績予想

2021年2月期（通期）の個別業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,520	百万円 89	百万円 76	百万円 93	円 銭 10.83
今回発表予想 (B)	1,600	208	198	193	22.47
増減額 (B-A)	80	119	122	100	11.64
増減率	5.3	133.7	160.5	107.5	107.5
(参考) 前期実績 (累計)	983	71	57	52	6.88

3. 業績予想修正の理由

当社は、2021年1月14日に第3四半期累計期間の連結業績等を公表するとともに、2021年2月期の連結業績予想を公表いたしました（詳細は、同日の適時開示「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください）。

今般、本開示日時点における業績の状況を踏まえて、2021年2月期の連結業績予想を改めて公表いたします。

2021年1月14日の連結業績予想の公表時点では1月8日に発出された2度目となる緊急事態宣言を受けて、当社の需要期である1月後半から2月の業績を慎重に予測しておりました。それに対して、特に1月後半以降も緊急事態宣言における減速が見られることなく好調に推移しました。

特に、1月及び2月における「ビザスク interview」は、想定よりも需要が大きく、法人クライアント口座数と1口座当たりの取扱高の双方が2021年1月14日付の業績予想時の前提と比べて上方に推移いたしました。また、その他のサービス（ビザスク expert survey、ビザスク project、ビザスク partner、ビザスク lite 等）につきましても順調に成長を続けております。また、広告宣伝費や採用費などについても積極的な投下を継続しておりますが、その他の経費とともに予想を下回る費消となりました。

その結果、2021年2月期の第4四半期における連結取扱高は788百万円（前年同期比+76.0%）となる見込みであり、2021年1月14日の連結業績予想の公表時点における試算である668百万円（前年同期比+49.2%）を上回る見込みです。

以上を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、取扱高は2,570百万円、営業収益は1,600百万円、営業利益は210百万円、経常利益は200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は195百万円と予想しております。

(個別)

業況については、上記と同等となります。営業収益は1,600百万円、営業利益208万円、経常利益は198百万円、当期純利益は193百万円と予想しております。

以上